

1 夏休みの自由研究でイタイイタイ病を調べる

8月3日（金）と4日（土）の両日、夏休み自由研究講座「イタイイタイ病を学ぼう」を開催しました。これは、自由研究のテーマに「イタイイタイ病」を取り上げてもらい、子どもたちに詳しく調べてもらおうと企画したものです。

夏休みも中盤に差し掛かる中、小学校高学年の親子連れなど22名が参加しました。映像やワークシートなどで一通りイタイイタイ病について学習した後、展示室に移動。5つのコーナーごとに、語り部の高木良信さんから体験談を交えた解説を聞きました。長年にわたってイタイイタイ病に深く関わってこられた高木さんの貴重なお話に、参加者は熱心にメモをとっていました。

その後、汚れた水をきれいにする実験などを行い、イタイイタイ病の発生に大きく関係した「水」についても学びました。

最後に講座の修了証が手渡され、受け取った児童からは、夏休みの自由研究の取組みに手応えを感じている様子がうかがえました。



2 親子で神岡鉱山などを巡る、バスツアーを実施

8月23日（木）に実施した「イタイイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー」では、東京都からの1組の参加もあわせ、6組12名の親子連れが集合しました。

当日は、資料館でイタイイタイ病の概要を学んだ後、バスに乗車し、イタイイタイ病の原因であるカドミウムが排出された神岡鉱山に向かいました。途中、復元工事で汚染田からよみがえった水田の姿を実際に見て、昼前には神岡鉱業に到着。「排水管理センター」と直径30mもある排水処理施設「シックナー」を見学し、午後からは、鉱石のくずを溜めて水分と固形分に分離する「和佐保たい積場」で施設の説明を聞きました。

見学を終えた参加者からは、「一般の方が行けない所を親子で見学でき、しっかり学べた」、「原因となった場所を実際に見学し、現在は環境保全にすごく努力されている様子を知ることができた。自由研究でまとめて、みんなに知らせたい」などの感想が寄せられました。現地を見て学習できる有意義な企画として今後とも、多くの方々に参加いただきながら続けていきたいと考えています。

